



さわ やま けい こ  
澤山 恵子 さん

京都市東山区宮川町生まれ。母娘の2代に渡って「フジ美容室」を切り盛り。花街の人々からの信頼も厚く、遠方から彼女を頼って訪れる古くからの常連客も多い。

美しいラインの新日本髪を作るにはしっかり逆毛を立てることが重要。  
質の良いシャンプーが大事で、逆毛の立ち方が違う。



京都五花街のひとつの宮川町。石畳の細い路地に京町家が並び、夕刻は芸舞妓さんが行きかう。その一角で「フジ美容室」を営む澤山恵子さん。昭和30年代のレトロな造りの店を母親から引き継ぎ、髪結いのキャリアは、48年になる。主なお客さんはお茶屋のお母さん、お座敷で演奏する地方さんなど花街の主役である芸舞妓を引き立てる人々だ。また芸舞妓さんがカツラをかぶらない時のお座敷や、お客さんとの会食「こはんたべ」の時にも髪を結う。母親の代は花街も盛んで、女性の町の美容室として大いに繁盛した。

澤山さんが得意とするのは地毛で結い上げる新日本髪。逆毛を立て、ピン、ゴムを使って、日本髪風に結う髪型だ。結うには長さが足りない人や薄毛が気になる高齢女性においても、カツラは使わず、地毛を生かし、「かもじ」や「毛たぼ」を使ってきれいに仕上げられる。首が細く見えるアップの角度や流れの作り方があり、鏡を見ながら、その人に似合う角度を手際よく決めていく。評判を聞きつけて今は遠方のお客さんも多く、十三詣りや成人式の娘さんも澤山さんの店にやって来る。「女性のきれい」を演出し、華やかな花街と女心を陰で支える緑の下の力もち。手に馴染んだ和櫛やピンを使いこなしながら、今日も澤山さんは髪結いの技をふるう。

女性を粹に美しく、花街の女心を支える髪結いさん

# 緑の下の力もち

私も力もちです

女性の晴れの日を裏方として支える澤山さんと同様、暮らしや産業の様々な分野を支えています。美容院やバスタイムに欠かせないシャンプーに使われ、洗浄や、保湿力を担う成分も、三洋化成工業が作っています！

三洋化成工業株式会社  
京都市東山区一橋野本町11-1



「はたらき」を化学する。  
"Performance" Through Chemistry